



2023
議会だより

よしか

第66号



**新学期も
元気いっぱい!
よしかっ子**



▶ 第1回定例会・主な新規、継続事業 …… 2～3	▶ 議案の議決結果表・前号の訂正 …… 9～10
▶ 当初予算の主な質疑・討論 …… 4～5	▶ 一般質問 …… 10～13
▶ 全員協議会・モニター制度について …… 6	▶ 発委・発議・現地視察・編集後記・ 今月の表紙 …… 14
▶ 議会へのご意見 …… 7～8	

第 1 回 定 例 会

《令和 5 年 3 月 2 日～16 日の 15 日間》

一 般 会 計 当 初 予 算

76 億 900 万円 (否 決)

経 緯

賛成 5 反対 6 で否決

閉校した専門学校施設を活用する計画や、六日市病院の存続に向けた財源確保で、各種補助金を削減することに反対する議員が多数を占めたため。

水道事業会計予算・下水道事業会計予算
国民健康保険特別会計予算 ほか 3 会計

総 額 **30 億 5,400 万円** (可 決)

第 1 回 臨 時 会

《令和 5 年 3 月 28 日》

一 般 会 計 当 初 予 算 (修正上程、4.5% 増)

76 億 1,400 万円 (可 決)

経 緯

全員賛成で可決

補助金削減の縮小を評価し、町民生活の影響を配慮した。なお、新しく六日市病院の公設民営化(新法人の設立)の予算609万円が盛り込まれた。

主な新規事業

サンハイツ周辺支障木伐採（吉賀高校前）	58 万円
システム開発設計委託料（地方公共団体情報システム）	930 万円
福川及び下須自治会館遊具撤去	88 万円
業務運営関係委託料、集落支援員 3 名分（特別交付税）	1,335 万円
各小学校遊具修繕費	221 万円
庁用器具費、朝倉小学校プールサイドマット	147 万円
各小中学校電子黒板更新整備費	232 万円
特別養護老人ホームとびのこ苑浴室改修事業	1,381 万円
柿木デイサービス浴室改修工事	2,175 万円
法人保育所送迎バス安全装置補助（3 台分）	60 万円
帯状疱疹ワクチン予防接種費助成	120 万円
アンテナショップ土地建物賃貸借料（廿日市市アンテナショップ吉賀）	410 万円
仙人の手改修工事費	409 万円
ゆらら改修工事費（浴槽ろ過機等）	1,509 万円
六日市団地エレベーター補修工事費ほか	171 万円
消防団員活動服更新	541 万円
柿木共同調理場空調機更新工事	427 万円
六日市共同調理場機械器具費	166 万円
七日市小学校ソーラーパネル改修工事	317 万円
交流研修センターみなし寮管理運営委託（吉賀高校男子寮）	1,870 万円
真田グラウンド、大野原グラウンドゴルフ場改修工事費	196 万円

主な継続事業

福川・白谷・下須・木部谷・大野原各自治会館指定管理料	89 万円
会計年度任用職員（集落支援員制度活用）、各公民館 5 名配置等	2,029 万円
生活バス路線確保対策事業補助金（六日市市街地循環路線含む）	4,336 万円
老人クラブ補助金	126 万円
出産子育て応援交付金	400 万円
地域医療確保緊急対策事業補助金（六日市病院）	1 億 9,741 万円
検診委託料新型コロナウイルスワクチン接種	1,204 万円
地域おこし協力隊事業委託費（有機茶・農地維持）	960 万円
農産物物流強化事業補助金 （町内で出荷された農産物等を町外に出荷した際の販売額の 6 %以内を補助）	1,500 万円
鳥獣専門員 2 名配置費（拡充）	916 万円
森林作業員（地域おこし協力隊） 7 名配置（拡充）	2,337 万円
プレミアム付き商品券発行事業補助	687 万円
益田広域消防本部庁舎建設事業負担金	2 億 7,000 万円
よしか・夢・花マラソン補助金	180 万円

当初予算否決

採決に先だち藤升議員より、旧六日市学園を管理運営するため、国の集落支援員制度（特別交付税）を活用する委託料（1335万円）を削除した修正案が提出されました。採決の結果否決され、原案について採決し、5対6の賛成少数で当初予算は否決されました。

当初予算の主な質疑

河村(隆)議員

アンテナショップは町に必要な施設なのか、町の姿勢を明確にして必要なら責任を持って支援すべきであり、民間に負担を負わせるべきではない。

【町長】

吉賀町の総合的なアンテナショップとして運営は継続していきたい。

河村(由)議員

ふるさと納税を増やすために返礼品の開発や生産に力を入れるべきである。

藤升議員

地域再生推進法人に配属する集落支援員の募集は法人がするのか。また法人関係者が応募することとは可能なのか。

【企画課長】

募集は法人が行い、法人の構成員が集落支援員になることは可能である。

庭田議員

地域資源を活かした観光に力を入れるべきと考える。行政は観光協会とも、もう少し連携すべきである。

【企画課長】

コロナで活動が縮小しているが協力してすすめていく。

中田議員

防災無線の外部放送が以前より聞き取り難い地区が有る。どのように対処していくのか。

【総務課長】

申し出をいただければ十分な対応をしていく。

令和5年度一般会計予算

反対討論

桜下議員

地域福祉基金を積み立てるという名目で、町民に対する町単独事業補助金の一律10%カットは、町民に説明もなく理解を得られない。補助金の削減は、町民に厳しい財政状況のツケを押し付けることであり、反対する。

賛成討論

松蔭議員

この予算には、町民の福祉向上につながる事業が組み込まれており、期待できるものと考えられる。

旧六日市学園施設活用に関しては、様々な知識を持たれている町民の力が活用されることを期待し、賛成する。

令和5年度 一般会計予算成立

3月28日の臨時議会で令和5年度の一般会計予算が上程され全員賛成で可決されました。

地域医療支援を目的に、町の持ち出しの補助金を全体で2583万9千円カットした当初予算を、2133万9千円に修正したものでした。

これにより、補助金は450万円増加したものの、地域福祉基金の積立金は450万円の減額となりました。

採決の後に藤升議員より、地域再生推進法人が雇用する集落支援員に対する付帯決議(案)が提出され、5対6の賛成少数で否決されました。

臨時会の主な質疑

村上議員

病院の新しい法人を七日市に想定しているとの説明があった。旧学園施設を活用するということか。

【医療対策課】

在宅医療を行うだけの診療所と考えているので、診療スペースは必要ない。

藤升議員

地域再生推進法人「高津川てらす」が提出した10年分の事業計画は提出できないのか。

【企画課長】

プロポーザルでの提案は、著作権や企業秘密などの関係から提案書の提出はこれまでも行っていない。



臨時会・全員協議会

第1回 臨時会 令和5年3月28日

議案31号 令和5年度吉賀町一般会計予算

第1回 全員協議会 令和5年2月13日

- 協議内容
1. 吉賀高校支援について
 2. 個人情報保護条例について
 3. 消防団員の処遇改善について
 4. 吉賀町の医療構想と経過報告について

第2回 全員協議会 令和5年2月24日

- 主な協議内容
1. *オーガニックビレッジ宣言について
 2. 旧六日市医療専門学校施設等について
 3. 第3次吉賀町男女共同参画計画について
 4. 吉賀高校支援について
 5. 令和4年度吉賀町中期財政計画について
 6. 町の医療・介護の今後の方向性について



*オーガニックビレッジとは有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ取り組みを進める市町村のこと。

第3回 全員協議会 令和5年3月28日

- 協議内容
1. 令和5年度吉賀町一般会計予算について

政策モニター制度についての報告

広報公聴委員会では、議会モニター制度の廃止に伴い、政策モニター制度への移行を決定し、議会改革関係ということで、議会運営委員会でモニターの公募、運営方法について鋭意、検討していました。

議会報告会も町内5会場で開催され、いろいろなご意見をいただきました。

また、町内にも、今年になって次々と大きな問題が生じ、まずこのことについて取り組みたいという意見が多く出され、政策モニター制度については、もう少し時間をかけて協議を重ねることになりました。

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

Form area with horizontal dashed lines for writing.

折ってください

切り取り

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第 1 回 定 例 会	議案第1号	令和4年度吉賀町下水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第3号	益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更について
	議案第8号 ～第9号	吉賀町個人情報保護審査会条例の制定について ほか1件
	議案第10号	吉賀町立学校設置条例の一部を改正する条例について
	議案第11号	吉賀町地区集会所施設条例の一部を改正する条例について
	議案第12号 ～第15号	吉賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ほか3件
	議案第17号	吉賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
	議案第18号	吉賀町営住宅条例の一部を改正する条例について
	議案第19号	吉賀町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
	議案第20号	吉賀町食育ネットワーク会議条例を廃止する条例について
	議案第21号 ～第27号	令和5年度吉賀町水道事業会計予算 ほか6件
	議案第29号	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
	議案第30号	請負契約の締結について(令和3年度町道皆富横立線大橋橋補修工事)
臨時 第1 会回	議案第31号	令和5年度吉賀町一般会計予算

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桜	村	三	桑	河	松	河	大	藤	中	庭
			下	上	浦	原	村 (由)	蔭	村 (隆)	庭	升	田	田
第 1 回 定 例 会	議案第2号	令和4年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	議案第4号	吉賀町交流研修センター施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	議案第5号	吉賀町真田グラウンド・吉賀町交流研修センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	議案第6号	吉賀町長等の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	議案第7号	吉賀町個人情報保護法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	議案第16号	吉賀町高齢者介護予防・地域支え合い事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	発委第1号	吉賀町議会の個人情報保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	発議第1号	保育士の配置基準引き上げを求める意見書(案)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○

小農の育成を



庭田 英明

質問

規模の拡大、産地化など、競争につながる農業振興は中山間地にはなじまない。

少量多品目の販売ができる道の駅や、アンテナショップの運営は行政が責任を持って支援すべきである。

重要な施設

道の駅やアンテナショップ

プは、農業施策を実施するための重要な施設と考えている。様々な形で支援をしていく。

地域資源を生かしたまちづくりを

質問

森英恵フラワーガーデン、高津川、石見神楽などの資源を整備、支援をして交流人口の増加、



定住、教育に活用すべきである。

まちづくりにつながる活用を

町長

資源の活用はまちづくりにもつながる。しっかりと対応していく。

協働によるまちづくりを

まちづくり計画の評価、

検証、体制の見直しを行うべきである。

新しい計画になった

町長

新しい計画では必要と思っている。

全ての移動を考えた交通網形成を



村上 定陽

質問

地域公共交通通網形成計画の中の事業について、柿木地域と六日市地域を移動するには広域路線バスと、地域路線バスの乗り継ぎが必要になり、広域路線バスにおいてほとんどが国道沿いの運行になる。そのバス停付近に横断歩道が無い。

住民が一番近い基礎自治体が道路管理者に伝えていく必要があると考える。

そして、その歩行区間に休憩所を設けるなど、新たな世代間交流の生まれる環境を、民間や他機関にも協力いただきながら率先して行っていくべきでは。



歩行区間の安全の確保

町長

歩行区間にかける安全確保は、公共交通網形成計画では取り組みを予定していない。

横断歩道の設置や危険箇所への対応については、道路管理者や警察等と連携した取り組みが必要である。

安全確保は第一に対応していかなければならぬ。ベンチ等公共施設に関しては当然検討していく。

民間を含む他機関、例えば商工会等を通じて休憩所、ベンチ等を置いていただくようお願いもできると考える。

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村(由)	松蔭	河村(隆)	大庭	藤升	中田	庭田
定第1回 議案第28号	令和5年度吉賀町一般会計予算【修正案】	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●
	令和5年度吉賀町一般会計予算	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○
臨第1回 発議第2号	議案第31号 令和5年度吉賀町一般会計予算に対する付帯決議(案)	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●	●

【訂正とお詫び】

令和5年1月25日発行の議会だより「よしか」第65号で、次のとおり議決結果表(P.6)に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

議案第62号「地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」

(誤) 藤升議員 ●:(反対) → (正) 藤升議員 ○:(賛成)

発電で地産地消



松 蔭 茂

質問

再生可能エネルギーを使った発電所を作る計画はないか。再生エネルギーというのは太陽光、風力、水力、地熱、大気中の熱、その他自然界に存在する熱バイオマスエネルギーである。地熱は火山がないので利用できないが、その他はこの地域にもある。

大がかりな設備ではなく、200w〜1kwくらいの発電で数百カ所作れば地産地消ができるのではないか。

現時点では発電所を作る計画はない

町長

過去に水力発電の可能性があるとされる場所を調査したが、整備やランニングコスト等を



学園跡地利用の進展は



河 村 由美子

質問

公募し、「高津川てらす」と決定したが、企画の具体性等、将来の発展性を評価した理由は何か。税金を投入するからには、丸投げにならないよう管理、検証を十分に。

要求水準を満たしていた

町長

地域再生のため、継続的な事業運営が確立でき、行政を補完し、その高い公益性を評価した。特別交付税を充当するので、未来のまちづくりに貢献できる組織づくりを共に頑張る。

人口増加に異次元対策を

質問

住民が不安視している病

森林資源と協力隊員(森師)の活用について



中 田 一元

質問

国がSDGs達成に向け森林、木材利用等に関する取り組みを推進する中、昨年協力隊員を採用し、企業と林業振興に関する包括連携協定の締結を行った。これらに関して4つ質問する。

①協力隊員の活用方法について
②協定期間と林産物生産についての考え
③間伐材や木材の活用のため、休止中の製材工場を活用することについて
④所有者不明森林の対応と町への森林寄付事業について

町長

多額の負債を抱える石州会に税金を投入し公設民営化を進めることは、地方財政法の法令順守に違反するおそれが極めて高いと判断し、新法人を立ち上げることを決めた。

企業誘致の財源確保にはトップセールスをはじめ、職員共々スキルアップに努める。

採用の人は希望にて2年間延長可能。町民に事業の啓発をして事業地の確保、町有林の作業委託等研修後の伴走支援を行いたい。

②期間は1年だが更新を予定。林産物の生産は育成した人材を活用したい。

③木材搬出用の壊れない道づくりを、メイソンとしている。休止中の製材工場も所有者との了承が大前提だが、有効活用と隊員の研修の早期実現のため早急に進めたい。

④所有者不明森林は国の補助事業の航空測量地図を検討したい。寄付事業は現在考えていない。

研修後の伴走支援をしっかりとしたい

町長

①任期は3年、コロナ禍

六日市病院の現状について



桜下 善博

質問

2月24日の
全員協議会に
おいて、石州会を公設
民営化後の運営を担う
指定管理者断念の方針
が示された。その原因
は。

町長と石州会側との
トップ会談が1年以上
開催されず公設民営化
に対する意思疎通が図
れなかった。町長にも
責任があると思う。

急激な経営悪化

平成30年度
から現在まで
の急激な経営悪化であ
る。単年度平均で約4
300万円の赤字経営
である。町からの財政
支援は、4年間で総額
8億6千万円である。
更に累積債務は、6億
から8億に膨らんでい

る。町の財政支出が拡
大する中、赤字経営が
続き債務は膨らむとい
う、破産寸前の経営状
態である。
2点目は、事前の了
解もなく評議員が解任
され、2名の町職員も
含まれている。このこ
とにより、双方の信頼
関係が薄れたと認識し
ている。
以上が主な原因であ
り、石州会を念頭に置
いた公設民営化は断念
した。

除雪について



河村 隆行

質問

今年の除雪
費は総額で、
6000万円を超えて
いる。

除雪方針によると、
除雪する路線は私道を
除く町道、農道、耕作
道で車両が通行できる
路線、家が建っている
路線、アスファルト舗
装・コンクリート舗装
している路線とある。

町内で、除雪しても
られない地域・家はど
のくらいあるのか、ま
た除雪作業についての
問い合わせは混乱をさ
けるため、各自治会長
を通じてとあるが相談件
数はどのぐらいか

要望に応じる

町長

除雪の対象
路線は町道を
基本としているが、住

民の要望に応じる形で、
町道以外、農道、林道
であっても舗装されて
おり、住まいがある場
合は除雪対象として、
作業を行っている。

また河川管理道等は
現在のところ除雪して
いない。除雪作業は1
00%できてはいない
と思うが、そのような
場所でも要望があれば、
作業を行うようにして
いる。

自治会長には、主に
シーズン前の広報でお
願いをすることにどめ
ている。1地区の自治会
長より要望があった。



旧蔵中跡地利用は



大庭 澄人

質問

旧蔵木中学
校の跡地利用
は今後どうするのか。

より有意義な施設に

教育長

生活や福
祉の向上に
役立つ施設となるよう
地域に諮りながら、明
確な使い道を決めて改
修する必要がある。

教育委員会内で施設
の利用計画について協
議検討を行っている。

皆が等しく住みやす い街を

質問

体が不自
由な人に、町は
配慮していかないよう
に
思える。

不自由な人にとって
は、一つ一つが障害と
なり、行動が大きく制
限される。社会的な活

財源を確保し着手

町長

多様な人々
の声を聞く、
住民参加のバリアフ
リー化に取り組む必要
があると考えている。

保健福祉課や庁内関
係部署が連携して取り
組める体制を整え、吉
賀町地域自立支援協議
会の中でも協議しなが
ら進めていく。

病院公設民営化の構想は



三浦浩明

質問

六日市病院の公設民営化の体制が未だ定かでない状況下で、住民の多くが不安視している。現在、医療対策課も本庁舎に移設された。早期の対応・解決が喫緊の問題であり、住民に不安や不信を招くことは許されない。また、退職者や医師住宅・病院寮等の付随した問題も浮上してくると思われるが、スピード感のある安心・安定した効果のある結果を出すべきである。



以前、住民有志による六日市病院を含めた諸問題に対し要望も提出されたが進展もなく、住民はもとより各事業所においても多大な悪影響が危惧される。現況の進捗と今後の計

画を聞く。

医療関係機関との連携で取り組む

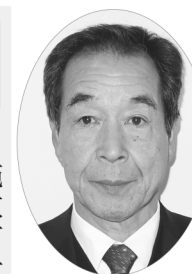
町長

今後の地域医療継続のため新法人設立に着手し、益田赤十字病院・医療法人橘井堂と連携して、吉賀町の医療介護体制の再構築を実現することとしている。

また、職員には不安等もあると思われる、将来的な病院像などの状況を、お伝えする。

医師住宅等の活用については、六日市医療サービスとの話し合いがあつたが、結論には至っていない。

住民の所得確保、向上は



桑原三平

質問

施政方針には住民の所得に関する記述は見当たらない。今年4月の統一地方選に向けた自民党のポスターには、所得向上、少子化対策、安全・安心とある。

所得の確保は生活困窮者や子育て世代には必要である。ましてや高齢者にとつては物価の高騰や年金の引き下げは切実な問題である。把握と認識、そして対策について聞く。

状況もあり、先行きが不安な思いをしていると考えている。昨年秋、国は低所得者世帯に5万円の給付を行う価格高騰緊急支援給付事業を実施し、町内では、65歳以上の846世帯に、総額4950万円給付している。

さらに、現在も物価が上昇しているため、国では追加策を検討しているので注視していきたい。

生涯を通じた健康づくりが不可欠

町長

昨今の物価や光熱費の高騰は、全住民に切実な問題だと認識している。特に、年金収入で生計を立てている世代は、年金の増額が見通せな

る。そのためには、健康な心と体が必要であり生涯を通じた健康づくりに必要な取り組みが不可欠である。

来年4月からの病院規模は



藤升正夫

質問

現在の六日市病院の病棟は、介護療養型老人保健施設が80床、医療の療養病床49床、急性期と地域包括ケア病床がそれぞれ25床で合わせて99床となっている。2月13日の必要とされる病院イメージの説明では、来年4月から、町が設立する医療法人の下で、介護医療院40床、医療病棟が50床と石州会が提出した経営改善計画の介護60床、医療70〜90床に比べ縮小している。

外来診療科目は、総合診療2診、整形外科、眼科に、昨日の答弁で歯科口腔外科も入った。

ベッド数の削減幅が大きいことの説明と、外来の1週間当たりの延べ日数を聞く。

労働力確保と経営維持両立の範囲

町長

医療・介護ベッド数ともに、基準で定める配置人員を念頭に、労働力の確保と経営の維持が両立できる範囲で設定した。

特に介護は、現在の80床から40床へと半減する。とびのこ苑とみろく苑の要介護3以上の待機者は75名と多く、急激な縮小は利用を希望する人への影響が大きい。

外来診療科の過当たるの延べ日数は、総合診療科は2診で5日、整形外科は週1日、眼科は週0.5日、歯科口腔外科は週5日を予定している。

発 委

(委員会が提出した議案)

【発委第1号】

吉賀町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

提出者 議会運営委員会

委員長 河村 由美子

〔内容〕 令和5年4月1日から施行される個人情報保護法において、地方公共団体の議会は独立性を確保する観点から、独自に条例を制定する必要があるため。

◇賛成多数により可決

発 議

(議員が提出した議案)

【発議第1号】

保育士の配置基準引き上げを求める意見書

提出者 藤升 正夫

〔理由〕 さまざまな発達段階の子どもたちの健全やかな成長と発達を支え、安全な保育を実施できる環境を整えるため。

◇賛成多数により可決

【発議第2号】

議案第31号 令和5年度吉賀町一般会計予算に対する付帯決議(案)

提出者 藤升 正夫

〔理由〕 地域再生推進法人への業務運営関係委託料の支払い時期を、集落支援員からの報告後とすることによって、支出の根拠を明確にするため

◇賛成少数により否決

定例会での現地調査

(3月6日)

今回は、町外から吉賀高校へ入学する生徒の受け入れ施設(男子寮)として整備する予定の、真田地区にある吉賀町交流研修センターと、4月から地域再生推進法人に委託される旧六日市学園施設を調査しました。



編集後記

球春と言えば選抜高校野球を思い浮かべますが、今年は一足早くWBC(国別対抗野球大会)が開催され、熱狂的な国民の応援のもと、オールジャパンは、選手一致団結し、厳しい戦いを克服し、14年ぶりとなる世界一を奪還しました。

物価高や多種多様な事件がある中、久々に明るいニュースでありました。

5月にはコロナウイルスが2類から5類へとなり、3年前の日常生活に戻り、経済活動も活発となり皆様の生活に少しでも恩恵を受けられることを期待します。

中田 元

広報公聴常任委員会

委員長 中田 元

副委員長 松蔭 茂

委員 桜下善博

委員 河村隆行

委員 庭田英明

【今月の表紙】

今月は、六日市第一・第二放課後児童クラブのみなさんが、しだれ桜の咲く六日市小学校の校庭で、元気に遊ぶ姿を撮影しました。六日市第一・第二放課後児童クラブのみなさん、ありがとうございました。

